

竹林放牧試験地におけるタケノコの発筍、採食状況

昨年から実施している肉用繁殖雌牛を皆伐竹林へ放牧する試験で、今年度、タケノコの採食性等の調査を行った結果は、以下のとおりでした。

総発筍本数は昨年に比べ、普通のタケノコに近い太さの筍型は半減し、人の指ほどの太さの矮小型はほぼ同数でした。(表)

牛はタケノコを見つけるとすぐに食べ、採食率も98%程度で、牛が歩けない急傾斜地以外に生えるものはほとんど食べました。(表・写真)

なお、この試験地では、農業総合研究所、林業試験場、畜産技術センター(碓)が合同で放牧による①獣害防止、②皆伐後の竹林拡大防止、③牛のタケノコの採食性等を調査しています。

表 総発筍本数及び採食率等 (本/10a、%)

	総発筍本数		採食本数		折損・枯死等		採食率	
	筍型	矮小型	筍型	矮小型	筍型	矮小型	筍型	矮小型
H18	302.5	2502.5	277.5	2155.0	17.5	302.5	97.4%	98.0%
H19	160.0	2455.0	137.5	2325.0	20.0	112.5	98.2%	99.3%

※ 採食率=採食本数÷(総発筍本数-折損・枯死等)×100



写真 傾斜地のタケノコを食べる牛

畜産技術センター碓高原牧場